

書面会議資料 9 ページを確認いただき、3月16日（水）までにメールにてご提出いただきますようお願いいたします。

意見書のご提出をもって会議へのご出席とさせていただきます。

件名：市の問題意識と方向性について

市民が地域資料を活用するためには、柏市に博物館・美術館施設が無い状況を勘案すると、市立図書館の役割が重要と考える。

また、地域資料を多く収集するためには、市民が、図書館は地域資料を収集・整理・保存・提供するという役割・機能を知り、興味を持ち、自ら参加するという「仕掛け」を造る必要がある。

併せて、学校、行政機関、図書館分館が設置されている近隣センター等で活動する市民団体等との連携が不可欠と考える。

件名：令和3年度主要事業報告及び令和4年度の事業構想

長期にわたるコロナ禍において、図書館サービスが制限される中で、様々な図書館活動を行っている。

令和4年度も引き続き図書館事業を進めていただくとともに、読書バリアフリー対応として、来館が困難な市民に対する電子書籍の導入や、インターネット配信による図書館講座開催についても、メリット・デメリット等を含めて調査し、検討していただきたい。

書面会議資料 9 ページを確認いただき、3月16日（水）までにメールにてご提出いただきますようお願いいたします。

意見書のご提出をもって会議へのご出席とさせていただきます。

件名：修正した「市の問題意識と方向性」について

内容について異議はありません。

件名：令和3年度主要事業報告及び令和4年度の事業構想について

令和3年度主要事業報告のうち、令和3年度に実施した「地域」に関する事業として(1)「地域情報コーナーの設置」に関して質問します。図書館における地域資料の取り組みとして、地域情報コーナーの設置は各分館の存在感や独自性を高めるうえで有意義であると考えます。地域情報コーナーの設置をはじめの一步として、その後は地域資料を実際に活用した市民参加型の事業を展開するなど、分館からその地域の市民へ働きかけていく動きに期待したいところです。地域情報コーナーを設置した次のステップとして、具体的な事業展開について企画・検討されていることがあればご紹介ください。

令和4年度の事業構想のうち、市長政策提言「駅前とこども広場とこども図書館の設置」に向けた調査検討について期待します。社会教育と地域福祉を融合した形で、図書館を一つのきっかけに、小さな赤ちゃんから中高生世代も含んだ子どもと子育て中の親子連れなどが気軽に利用できる空間の整備を望みます。国内外の事例に関する情報を収集する際は、施設の設計や使われ方はもちろん、その地域に子どもと親子の居場所を設置するに至った設置主体や市民の思いが参考になると考えます。子どもの成長を地域みんなで支えていくという魂が施設のコンセプトに込められていくよう、設置経緯・過程を含めた調査の展開を望みます。

書面会議資料 9 ページを確認いただき、3月16日（水）までにメールにてご提出いただきますようお願いいたします。

意見書のご提出をもって会議へのご出席とさせていただきます。

件名：資料 6 ページ 修正した「市の問題意識と方向性」について

- 問題意識を上手にまとめていただきました。
 - 方向性もいかに問題を解決するかによく向き合い、まとめてあると感じます。ただ、すべてのことを図書館だけが担うのは、難しいと思います。
- そこで、①複数年で取り組む
②最終ゴールの明確化
③市や外部団体と連携して進める などの
役割分担を考える必要があると思います。

件名：資料 8 ページ

- 問題意識をいかに市民の皆さんと共有するか、周知するか。
- 柏市の図書館としての方向性が絞らないと、収集した後のまとめ（整理整頓）が大変です。
- 図書館分館を生かす取組は、ぜひ進めていただき、特色を持つてほしい。その近隣の小中学校との連携も必要ではないでしょうか。
- 柏市教育委員会のこども司書講座を受講した児童を活用しても良いのかなと思います。何か良い企画はないのでしょうか。
- 【テーマを見つけ、調べ、資料を収集し、市民に説明する】なんて学習も考えられるかなと思ったりします。

書面会議資料9ページを確認いただき、3月16日（水）までにメールにてご提出いただきますようお願いいたします。

意見書のご提出をもって会議へのご出席とさせていただきます。

件名：修正した「市の問題意識と方向性」について

協議会のワークショップで話し合われた問題意識と今後の取り組みの方向性について、おおよそ網羅されていて、簡潔にまとめていただけたと思う。文言の修正については、特に必要性を感じないが、方向性（2）については、ワークショップの中でもポイントになった部分である。地域資料の収集・記録について、それに関わる人をどう取り込みまとめるか、コーディネーターを配置するなど、ぜひとも具体的な取り組みにつなげていただきたい。

件名：令和3年度主要事業報告及び令和4年度事業構想について

分館の「地域情報コーナー」、「ふるさと柏のむかしばなしマップ」の巡回展示、子ども司書による「おびコレ」の本館・分館展示、と分館の活用が着実に進んでいることは評価できる。継続的な取り組みにより図書館が地域情報の拠点となっていくと考える。

令和4年度の事業構想については、「駅前にこども広場とこども図書館の設置」に関心を持っている。未来を担う子どもたちの読書活動を充実させることや本を通じた交流の場を作ることは、子育て世代のニーズに応えるとともに駅前の活性化にもつながるだろう。中核市としてぜひ実現してほしいと期待している。

書面会議資料9ページを確認いただき、3月16日(水)までにメールにてご提出いただきますようお願いいたします。

意見書のご提出をもって会議へのご出席とさせていただきます。

件名：「あり方」との関連性を明記しませんか

「問題意識と方向性」は、「柏市図書館のあり方」を踏まえたものであると理解しておりますが、それが明示的に示されていないため、文脈を知らずに調べると、ともすると似たような資料が以前の流れとは独立して作成されているように感じられるのではないかと危惧しています。

「あり方」を引用する形で、それを踏まえた発展版であることを示すと良いのではないのでしょうか。

件名：協議会の開催方式について

図書館のあり方策定や、これまでの協議会の運営方式は、単に市民や委員から意見を募るのみならず、議論・対話を通じて理解を深め、個々人がひとりひとり個別に考えるだけでは出てこない意見やアイデアを共創することを重視していたように理解しております。

書面会議という形態も、とりうる解の一つではあるかと思いますが、オンライン会議など意見や対話が可能な形式は他にもあるかと思えます。今後はそうした対話・議論の形が協議会で実現できることを望んでいます。

書面会議資料 9 ページを確認いただき、3月16日（水）までにメールにてご提出いただきますようお願いいたします。

意見書のご提出をもって会議へのご出席とさせていただきます。

件名：修正した「市の問題意識と方向性」について

修正された「市の問題意識と方向性」を読んで、全体的に市民全体で共有し対処していくべき課題である、という位置づけになっているのかなと思った。例えば、問題意識の(2)にある「資料等の散逸について危機感を共有する」という部分からは、図書館を始めとする行政だけが頑張っても限界があることが伝わってくる。このポイントはかなり重要であると考えている。

また、その一方で、方向性(5)の③に図書館の限界性を示していることも評価できる。すべてやろうとするのではなく、市民との協働プロジェクトとして組織できると理想であろう。

また、個人的には個人の「語り」も重要な資料として残していきたいと考えている。先日、柏市内に住む祖父母と話をしていたところ、住んでいる地域の50年ほど前の様子について話題になった。祖父母が住んでいる場所の町会の名前の由来について、諸説あるものの、それを知っているとされていた人はすでに亡くなっており、もう誰もわからないそうだ。このように失われていく記憶を記録していくことも、「地域の資料」としては重要だと思われる。

件名：令和 3 年度事業報告と令和 4 年度事業構想について

令和 3 年度の事業報告を拝見すると、全体として「図書館のありかたについて」で謳われている「学び」と「共有」についてはかなり多くの取り組みがなされているように思われる。一方で、創造という観点をどう具現化していくかについては、引き続き考えていかなければならない課題ではないだろうか。

創造を助けるためには、当然豊富な資料やリファレンスサービスなど知識を助ける側面も重要だが、それと同じくらいに「場」を整備し、活発化させるためのファシリテータの存在が欠かせない。このあたりをどう仕掛けていくかについては、来年度以降も協議委員として引き続き考えていきたいと思っている。

同様な観点から、令和 4 年度の事業構想の中に「創造」を具現化する具体的事業が含まれていないのが気になっている。例えば、2 番のこども図書館の設置に関連させて、駅前に子どもが創造的に学ぶ拠点のようなものが作れないだろうか。検討する価値は十分あると思われる。

書面会議資料 9 ページを確認いただき、3月16日（水）までにメールにてご提出いただきますようお願いいたします。

意見書のご提出をもって会議へのご出席とさせていただきます。

件名：修正した「市の問題意識と方向性」について

お取りまとめいただいた「問題意識」について、まさにその通りと考えており異論はございません。

この「地域情報の拠点化事業」を進めるにあたって、①試行的・段階的に取組を行う、との記述がありますが、どれほどの期間をかけて完結するとお考えなのか、できればゴールの日付を明確にしたいところです。

と申しますのも、市制施行前後の地域の記憶を有している市民層は高齢化によりその記憶が年々あいまいになっており、おそらくこの先5年（2027年頃まで）がリミットではないかと感じているからです。

つきましては、②限られた図書館の経営資源の再配分、③地域情報の拠点化事業の推進、④外部組織との連携、⑤利活用を前提としたデジタルアーカイブの構築、を同時期に並行し検討・実施していく必要があります、そのための体制づくりが急務と考えます。

2の方向性に掲げた（2）から（5）までの内容が速やかに実施できるよう、各項目ともゴールの日時を明確化し具体的なスケジュールを立て事業推進にあたっていただければと思っております。

件名：令和3年度主要事業報告及び令和4年度の事業構想について

令和4年度の事業構想につきましては、前件に記させていただきました通り、「地域情報の拠点化事業の推進」は最重要課題であり、重点的に進めていく必要があると考えます。

つきましては、3つの分館（高柳、増尾、永楽台）に設置して

いる「地域情報コーナー」の設置にとどまらず、事業推進役の人材育成メニューを検討・実施し、他の地域でも水平展開できるように、5か年の事業及び組織体制に係る計画を早急に進めていただきたく存じます。

書面会議資料 9 ページを確認いただき、3月16日（水）までにメールにてご提出いただきますようお願いいたします。

意見書のご提出をもって会議へのご出席とさせていただきます。

件名：修正した「市の問題意識と方向性」について

修正点はございません。

持続可能な取り組みとするためにも、地域資料の収集・整理（特にデータ化する方法や範囲）の基本ルールの在り方が重要と思います。

件名：令和3年度主要事業報告及び令和4年度の事業構想について

- ・地域情報コーナーについては、市の方向性のとおり、地域住民が関わりながら設置更新していく体制づくりをお願いします。
- ・読書バリアフリー推進計画は、情報保障としてできるだけ早い時期に策定をお願いできればと思います。

書面会議資料 9 ページを確認いただき、3月16日（水）までにメールにてご提出いただきますようお願いいたします。

意見書のご提出をもって会議へのご出席とさせていただきます。

件名：修正した「市の問題意識と方向性」について

修正箇所ございません。取りまとめありがとうございます。

件名：令和3年度主要事業報告及び令和4年度の事業構想について

地域情報の発信の必要性と次世代への受け継ぎの必要性を強く感じました。地域情報発信の拠点となることをきっかけに各分館に期待される役割が増し、集客力も上がるのではないかと期待しています。それぞれの拠点に違った展示をおこなうなかで、市内拠点の巡回を促せるような企画があれば、柏市全体の地域資料に触れる機会を持つことを促すことができるのではないかと考えました。

特に、小学校中学年層であれば市内探検などが授業に組み込まれているためターゲットにしやすいのではないかと考えています。デジタルスタンプラリーや教育機関と連携した課題型の巡回促進などを通して、児童だけでなくご家族も巻き込んだ来館促進を測れるのではないかと考えました。評議員の皆様のご意見を拝見できることを楽しみにしております。

書面会議資料 9 ページを確認いただき、3月16日（水）までにメールにてご提出いただきますようお願いいたします。

意見書のご提出をもって会議へのご出席とさせていただきます。

件名：「市の問題意識と方向性」について

- ・福島先生の指摘と委員意見が的確に反映され、内容が深まりました。この方向性をもとに、具体的に何に取り組むかを検討する。次の段階にいけるのではないのでしょうか。
- ・図書館協議会の形骸化、停滞が懸念されるなか、有識者による問題提起とワークショップ型の意見出しは、議論散漫にならず有効だと感じます。柏市立図書館流の図書館協議会の運営方法として評価できます。

件名：令和3年度主要事業報告及び令和4年度の事業構想について

1. 地域情報の拠点化事業の推進

- ・この取り組みは、市内に分館が17館ある柏市の図書館の特徴を活かす重要な事業です。今後、発展させるためにも、これまで実施した3館の取り組みの振り返り、今後の課題整理が必要ではないでしょう。
- ・「市の問題意識と方向性」にもとづき、さらに取り組みを充実させることを望みます。どの分館にどういったテーマを設定するかを明らかにして、年間に数館ずつ増やす。分館に隣接する中学や高校の図書委員、地元のグループ、公募したメンバー等によるプロジェクト方式で小規模であれ進めてはいかがでしょう。

2. 市長政策提言「駅前にかども広場とこども図書館の設置」に向けた調査検討

- ・駅前の公共施設には、多様な機能が期待されます。こども広場とこども図書館の機能のみに特化せず、複合的な機能のひとつのという視点で、調査検討することを望みます。

書面会議資料 9 ページを確認いただき、3月16日（水）までにメールにてご提出いただきますようお願いいたします。

意見書のご提出をもって会議へのご出席とさせていただきます。

件名：「市の問題意識と方向性」について

1(1)伝統行事とは、具体的には何か？

2(2)資格などを持ったプロを育成するということなのか、地域住民の中から自然と生み出される環境づくりをするのか（トップダウン型かボトムアップ型か）

2(3)「より多くの市民」を「性別・年齢問わずより多くの市民」とするとより良いと感じた。

件名：事業報告と事業構想について

・絵本 30 選の取り組みは面白いと感じた。だが、kanon かしわインフォメーションセンターの知名度があまり高くないため、少しもったいないと感じた。実際訪れるととてもいい空間だったので、ぜひ kanon かしわインフォメーションセンターの広報も増やして欲しい。

・地域情報について、地域の歴史「過去」について知る資料だけではなく、「今」と「未来」についての資料も欲しいと感じた。柏の歴史が今の柏とどう結びついているのか、今の柏ではどんな先進的な取り組みがあるのか、知る機会があるといいと感じた。